薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」

郡山市立薫小学校
学 校 便 り　No.１６
令和５年　９月　８日
文責：校長 齋 藤 和 彦

「〇君が来ました！」 薫小の先生は,全力で応援します。

始業式の日,「〇君が登校しています！」～担任も,職員室の先生も皆歓喜..の吉報！

担任の先生の親身に寄り添う..根気強いかかわりと保護者さんとの連携あってのこと。スクールカウンセラー（SC）さんのはたらきかけも功を奏した結果なのかもしれません。

そして何よりも,ずっとずっと〇君の欠席を心配し気がかりに..家に遊びに/声かけに/登校促しの誘いを夏休みの間も続けてくれた「友だち」の存在とそのはたらきも大きな力（要因）となっていたことは確かなこと。

保健室で過ごし..翌日からは校長室で過ごし..図書室に行き,勉強もして..休まず登校。

職員室の先生が,次々に関わってくれます。～「三ならべ」や「ジェンガ」「地図パズル」,下学年なかよし遠足コースの下見（安全確認）を一緒にしたりしました。給食は,学級の友だちが入替わり校長室に来てくれて,４人で学級の話題で大盛上がり..応接セットで完食。

徐々に活動の合間に算数や国語の学習を挟み,給食を自分で受取りに行き..,〇君も日々がんばりレベルをあげています。100 点です。

学校には,『このような居場所』があります。安心な場所がないなら,何とかして作ります。他にも,『あそこなら行けるかも..』『〇時までならチャレンジできるかも..』『こんな活動や勉強なら..』どれも,可能な限り適えます。～迷いながらも..ドキドキしながら..勇気をだして一歩踏み出そうとする子ども達を薫小学校の先生方は,全力で応援します。（絶対に）

☆ 友だちの力（かかわり）にも感謝します。

まだまだ油断できない「感染症」

終末の休業明けの今週,感染症や発熱,体調不良による欠席者が増えました。

早期の対応（対策）として,「積極的なマスク着用」「学年間交流の自粛」「学級閉鎖措置」等を行ってきました。新型コロナが【５類分類】となっても,症状や感染の心配リスクが軽減されたわけではありません。まだまだ油断禁物です。感染予防に努めていきましょう。

◆◇ 校長室より ◇◆

～ひとは,わかってくれそうな人に～

ある校長先生からの“はなむけの言葉”でした。

『保護者からの苦情が,直接 教育委員会に行くことがある。ひとは,一番身近な人に..そして,一番わかってもらえそうな人に相談するものです。「学校が,そんな存在になっていなかった..ということ。」と,考えられる教頭先生になってくださいね。』

子ども達から.保護者から.地域から.「先生」と呼ばれ続けていると,いつしか,自分を勘違い（見失い）がちな職業＝教員です。

「校長先生」と呼ばれる自分の姿や言葉,学校経営のふるまいも同様です。薫の子には..保護者の皆様には,どのように伝わっているか？

年度中盤となる今,学校や校長へのご意見や学校運営への感想などを下記用紙に走り書きで結構ですので,どうぞお聞かせください。

校長室入口の「箱ポスト」へ..,お子さんにに配達させてください。（校長に直接届けてくださっても,別紙でも何でもかまいませんので。。）

・・・・・きりとり・・・・・きりとり・・・・・きりとり・・・・・きりとり・・・・・きりとり・・・・・

年　　組（　　）無記名でも結構です